



## 平成26年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年5月9日

上場会社名 アプリックスIPホールディングス株式会社  
 コード番号 3727 URL <http://www.aplix-ip.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 郡山 龍  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 伊藤 洋  
 四半期報告書提出予定日 平成26年5月14日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 050-3786-1715

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年12月期第1四半期の連結業績(平成26年1月1日～平成26年3月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第1四半期	929	△55.4	△395	—	△352	—	△251	—
25年12月期第1四半期	2,085	1.8	△366	—	△332	—	△334	—

(注) 包括利益 26年12月期第1四半期 △274百万円 (—%) 25年12月期第1四半期 △222百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第1四半期	△20.03	—
25年12月期第1四半期	△26.67	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第1四半期	8,549	—	7,326	—	7,326	85.7
25年12月期	9,720	—	7,556	—	7,556	78.2

(参考) 自己資本 26年12月期第1四半期 7,326百万円 25年12月期 7,604百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年12月期	—	—	—	—	—
26年12月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年12月期の連結業績予想(平成26年1月1日～平成26年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
通期	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成26年12月期の業績予想につきましては、一時的に開示を見合わせております。  
 詳細は、添付資料3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年12月期1Q	12,553,930 株	25年12月期	12,553,930 株
26年12月期1Q	12,555 株	25年12月期	10,477 株
26年12月期1Q	12,542,446 株	25年12月期1Q	12,548,423 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

近年の移動体通信市場は、国内外におけるスマートフォンの急速な普及等大きな変革期にあります。巨額の費用を投じて開発された質の高いOSやミドルウェア等のソフトウェア基盤技術が無償で配布されるようになり、また、規制が厳しく一般からの参入が難しかった通信事業者のコンテンツマーケットから、誰もが手軽にコンテンツを提供できるオープンマーケットへの移行が進み、従来の中ドルウェアやカジュアルコンテンツの事業からの転換が急務となっております。

このような市場環境において、当社グループは、「M2M (Machine to Machine)」をキーワードに、従来から培ってきた通信や制御の技術を競争力の源にできるよう、当連結会計年度以降の収益性の改善と売上高の増加に向けて大きな事業構造の変革を進めるとともに、当第1四半期連結累計期間において、当社グループでアニメーションやカジュアルコンテンツの事業に従事していた株式会社アニメインターナショナルカンパニー及び株式会社ジー・モードの全株式を譲渡し、当社グループの経営資源をM2M関連事業に集中投入できる組織体制の構築を進めております。

なお、当社グループで推進しております事業の再編成等に伴い、当第1四半期連結会計期間より従来の報告セグメントの名称を変更し、「ソフトウェア基盤技術事業」を「テクノロジー事業」、「コンテンツ・サービス等事業」を「出版映像等事業」としております。本セグメント名称の変更がセグメント情報に与える影響はありません。

#### (a) テクノロジー事業

従来ソフトウェア基盤技術を中心とした事業を急速に縮小し、M2M関連事業で収益を伸ばす体制へと大きな変革を進めております。当該事業分野に資源を集中すべく、当第1四半期連結累計期間において、これまでの主力製品であった「JBlend」、「emblend」等の既存ソフトウェア資産の一括ライセンス等を行っております。

M2M関連技術の事業分野においては、平成25年11月に発表したBeaconモジュール「BM1」が、O2O (Online to Offline) や位置情報等の幅広いサービスの新しいソリューションとして注目され始めております。「BM1」は、乾電池・コイン電池対応型や、センサー付き商品タグ型、ACアダプタ対応型、極薄フィルム型、更には防塵・防水・難燃性の産業用等、用途に応じた様々なタイプを取り揃えており、アパレル・ファッション業界や飲食業界、流通業界等での実用化をはじめとして、多くの引き合いと高い関心を頂いております。

3月には、商用利用向けケース入りBeacon「MyBeaconシリーズ」として、USB給電型、ペンダント型、単3乾電池内蔵設置型の3タイプを量産し、販売を開始することを発表いたしました。すべて技術基準適合証明や各国・各地域の電波法の認証を受けており、また電波送信出力の変更機能も標準で備わっているため、出力を調整することでBeaconを複数設置している環境で電波の干渉を防ぐ等、利用環境に合わせたきめの細かいサービスを提供することが可能です。

当社では、M2M関連技術の事業分野を当社グループの新たな成長ドライバーと位置づけ、高いソフトウェア開発技術力と先進性を基に、国内はもとより世界の市場においても競争力があり付加価値の高い製品や関連サービスを、市場にいち早く投入することにより、本事業の収益拡大を目指してまいります。

#### (b) 出版映像等事業

当第1四半期連結累計期間におけるコミック作品につきましては、新刊15作品、重版16作品が売上に貢献しております。特に当第2四半期連結会計期間にテレビアニメ放送が予定されているロボットコミック作品「ブレイクブレイド」は、当第1四半期連結累計期間において既に多くの注文を頂いており、放送期間中の更なる売上を見込んでおります。児童書関連作品につきましては、前連結会計年度に映画公開と連動で納品した原作小説作品の返品等、当第1四半期連結累計期間の収益を下押しする要因がありましたが、絵本作品「ミルクこぼしちゃだめよ！」が「第60回青少年読書感想文全国コンクール」の課題図書に選定される等、当第2四半期連結会計期間以降の収益改善に道筋をつけております。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間のテクノロジー事業の売上高は690,870千円（前第1四半期連結累計期間の売上高875,474千円）、出版映像等事業の売上高は238,962千円（前第1四半期連結累計期間の売上高1,210,306千円）となりました。営業損益につきましては、テクノロジー事業の営業損失は95,165千円（前第1四半期連結累計期間の営業利益105,083千円）、出版映像等事業の営業損失は66,264千円（前第1四半期連結累計期間の営業損失160,423千円）となりました。

また、当第1四半期連結累計期間においてセグメント損失の調整額が233,848千円（前第1四半期連結累計期間のセグメント損失の調整額311,169千円）が発生しております。セグメント損失は、連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は929,833千円（前第1四半期連結累計期間の売上高2,085,780千円）となりました。

営業損益につきましては、395,277千円の営業損失（前第1四半期連結累計期間の営業損失366,509千円）となりました。

経常損益につきましては、投資事業組合運用益の計上等により、352,799千円の経常損失（前第1四半期連結累計期間の経常損失332,531千円）となりました。

四半期純損益につきましては、251,211千円の四半期純損失（前第1四半期連結累計期間の四半期純損失334,632千円）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当社グループの当第1四半期連結会計期間末における総資産につきましては、前連結会計年度末と比較して1,171,139千円減少し8,549,615千円となりました。これは、ソフトウェアが537,991千円、ソフトウェア仮勘定が382,368千円それぞれ減少したこと等によるものです。

負債につきましては、前連結会計年度末と比較して940,817千円減少し1,223,078千円となりました。これは、支払手形及び買掛金が53,797千円、未払金が44,940千円、前受金が430,204千円、事業整理損失引当金が218,467千円それぞれ減少したこと等によるものです。

純資産につきましては、前連結会計年度末と比較して230,322千円減少し7,326,537千円となりました。これは、主に四半期純損失を251,211千円計上したことに伴い利益剰余金が減少したこと等によるものです。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間末における自己資本比率につきましては、前連結会計年度末と比較して7.5ポイント増加し、85.7%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年2月14日公表の「平成25年12月期決算短信」に記載のとおり、当社は平成26年度の通期業績予想の開示を見合わせております。当連結会計年度におけるM2M関連事業の伸張度合い等の精査に時間を要しておりますが、1か月以内を目途に開示を差し上げる予定でございます。今しばらくお待ちくださいますようお願い申し上げます。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	2,195,343	2,708,714
受取手形及び売掛金	1,141,677	665,019
有価証券	2,721,756	2,807,339
商品及び製品	375,328	441,450
仕掛品	123,180	32,964
その他	215,639	290,960
貸倒引当金	△18,278	△67,798
流動資産合計	6,754,648	6,878,650
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物（純額）	210,607	190,481
車両運搬具及び工具器具備品（純額）	82,379	92,202
土地	46,000	—
有形固定資産合計	338,986	282,683
<b>無形固定資産</b>		
のれん	187,530	160,740
ソフトウェア	1,021,585	483,593
ソフトウェア仮勘定	417,579	35,211
その他	117,936	49,187
無形固定資産合計	1,744,631	728,732
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	99,741	96,282
長期貸付金	—	735,000
その他	782,747	563,267
貸倒引当金	—	△735,000
投資その他の資産合計	882,488	659,549
固定資産合計	2,966,106	1,670,965
資産合計	9,720,755	8,549,615

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	254,006	200,208
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	37,980	38,060
未払金	327,686	282,745
未払法人税等	21,429	25,287
前受金	456,950	26,745
賞与引当金	47,712	72,682
返品調整引当金	38,610	25,859
事業整理損失引当金	218,467	—
その他	532,304	315,541
流動負債合計	2,035,148	1,087,132
固定負債		
長期借入金	80,575	68,430
退職給付引当金	20,243	21,884
その他	27,929	45,631
固定負債合計	128,747	135,945
負債合計	2,163,895	1,223,078
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,264,700	13,264,700
利益剰余金	△5,565,031	△5,816,243
自己株式	△16,022	△19,806
株主資本合計	7,683,646	7,428,651
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△56,473	△61,498
為替換算調整勘定	△22,636	△40,838
その他の包括利益累計額合計	△79,109	△102,337
新株予約権	△47,677	223
純資産合計	7,556,859	7,326,537
負債純資産合計	9,720,755	8,549,615

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)
売上高	2,085,780	929,833
売上原価	1,679,741	768,965
売上総利益	406,039	160,867
販売費及び一般管理費	772,549	556,145
営業損失(△)	△366,509	△395,277
営業外収益		
受取利息	3,840	2,411
為替差益	28,290	1,036
投資事業組合運用益	764	39,521
その他	2,934	1,172
営業外収益合計	35,829	44,142
営業外費用		
支払利息	1,051	1,009
支払手数料	800	600
その他	0	54
営業外費用合計	1,851	1,663
経常損失(△)	△332,531	△352,799
特別利益		
新株予約権戻入益	6	—
事業再編益	—	128,839
特別利益合計	6	128,839
特別損失		
固定資産除却損	4,244	53
その他	347	—
特別損失合計	4,591	53
税金等調整前四半期純損失(△)	△337,116	△224,013
法人税、住民税及び事業税	20,396	21,128
法人税等調整額	△22,880	6,069
法人税等合計	△2,483	27,198
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△334,632	△251,211
四半期純損失(△)	△334,632	△251,211



(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△334,632	△251,211
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	63,971	△5,025
繰延ヘッジ損益	△1,102	—
為替換算調整勘定	48,843	△18,202
その他の包括利益合計	111,711	△23,227
四半期包括利益	△222,921	△274,439
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△222,921	△274,439

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。